

石巻の経験を各家庭で活かすために  
あらためて考える“わが家”の防災ルール

週末交流プログラム番外編  
週末に防災を考える。  
街歩き＋ワークショップ

日程

2015年1月24日(土)  
2月14日(土)

日程

12:50 集合  
16:00 解散

場所

ピースボートセンター  
いしのまき

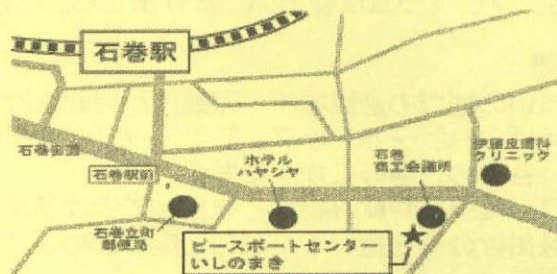
住所：石巻市立町1-5-21  
アクセス：石巻駅徒歩7分

参加費

500円

定員

20名  
※最少催行人数5名



ご予約・お問い合わせはコチラ

☎ 0225-25-5602 (10時～18時/金曜・祝日定休)

オンライン予約受付中!



ピースボートセンターいしのまき

検索

# 週末に防災を考える。 街歩き+ワークショップ

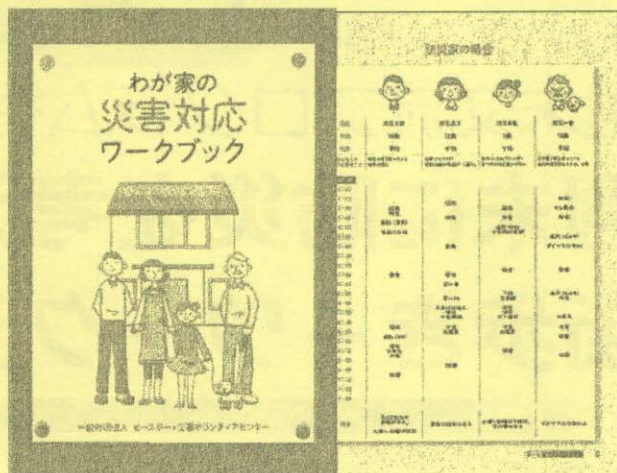
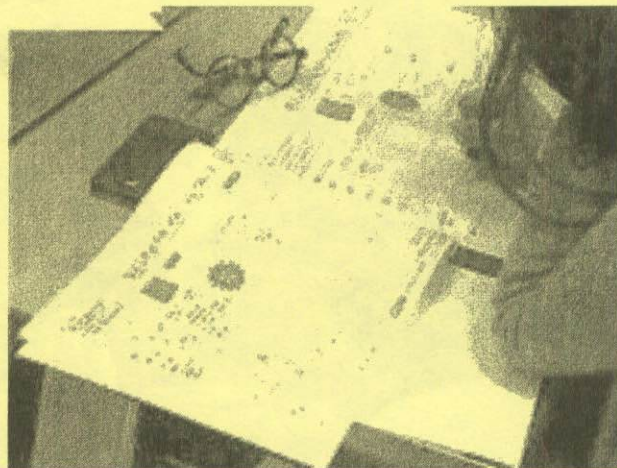
震災から4年目を迎えた石巻。  
当時を生き抜いた方々が口にする「同じ経験をさせたくない」の言葉。

東日本大震災以降、日本で暮らす私たちの防災意識は高まり、防災に関する情報も様々な機関から多く提供されています。しかし、私たちはそれらの情報をどれだけ活用できているのでしょうか？

「非常持出袋を作らなければ」「備蓄をしなくては」と思いながらも、何をどれくらい準備すればよいのかわからないということもあるのではないのでしょうか？  
また、実際に準備したものが災害時に役立つのかどうか、一度災害が起こると自分の暮らしがどのようなものになるのか、想像が付きづらいものではないのでしょうか？

そこで、東日本大震災時に避難所となっていた場所や仮設のお風呂が設置されていた場所などを巡りながら、災害時に自分自身や大切な人がどのような環境で生活を送ることになるのかを知る「街歩き」を実施します。

その後で、ピースボート災害ボランティアセンター(PBV)が新たに製作した「わが家の災害対応ワークブック」を活用しながら、家族の日常生活や自宅に潜んでいる危険性、地域の特徴など身のまわりの環境を今一度考えます。その上で発災から72時間の間に起こりうる出来事を具体的にイメージし、その中で生まれる困難や疑問をどう解決していくのかを考えてみませんか？



## プログラム内容

(所要時間：3時間)

### 《第1部》

東日本大震災当時、設置されていた避難所や仮設入浴施設跡地などを歩きながら、災害時の環境をイメージします。

### 《第2部》

「わが家の災害対応ワークブック」を使用し、家族の日常生活や自宅に潜んでいる危険、地域の特徴など身のまわりの環境を改めて見直し、発災から72時間に起こりうる出来事を具体的にイメージします。



### ◆参加条件

- 集合場所までお越しになれる方。(現地集合・現地解散)
- 記載のスケジュールで参加出来る方。
- 自己負担金(500円)が支払える方。
- 下記準備物を全て準備できる方。
- 宿泊施設を利用する場合には、施設利用料 500円/1泊を支払える方。

### <参加年齢に関して>

- 未成年の場合は、保護者同意の上、所定の「未成年合意書」の書類提出が必要です。
- 16歳以下の方の参加には保護者の方の同伴が必要です。
- 6歳以下の方の参加はご相談ください。

[提出方法]集合時にオリエンテーションにてご提出ください。忘れた場合、プログラムに参加いただけません。ご注意ください。

### ◆準備物

- お住まいの地域の避難場所・避難所が掲載されている地図(例えば：ハザードマップ、防災マップ、避難所マップなど)
- 現金 各自の食事等にかかるお金
- バッグ 貴重品や飲み物などを持って歩けるように、リュックや、肩掛けの鞆を持つてくることをお勧めします。
- 筆記用具
- 雨天時の準備物(雨合羽など両手があくものが便利です)

### ◆留意点

- スケジュールは交通状況や天候等により予告なく変更になる場合があります。